

2013年6月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社 マクロミル

証券コード：東証1部 3730

全社業績

2013年6月期 第2四半期（累計）決算の概要

✓ 売上・経常利益ともに2ケタ成長により、過去最高収益で業績予想を達成

(単位：百万円)

		第2四半期累計期間 (7/1~12/31)			上期業績予想 (7/1~12/31)	
		2013年6月期	2012年6月期	前年同期比	(進捗率)	
連結	売上高	8,362	6,802	122.9%	8,200	102.0%
	経常利益	1,932	1,577	122.5%	1,930	100.1%
	経常利益率	23.1%	23.2%	-0.1pt	-	-
	当期純利益	1,262	799	157.9%	1,000	126.2%
単体	売上高	7,437	6,760	110.0%		
	経常利益	1,909	1,851	103.1%		
	経常利益率	25.7%	27.4%	-1.7pt		
	当期純利益	1,230	1,040	118.2%		

トピックス

国内

- ✓ 国内マーケティングリサーチ事業の堅調な拡大
→P.6~8

海外

- ✓ 統合効果を早期に具現化：
韓国子会社マクロミルエムブレインの業績が改善
→P.9

(予想) 2013年6月期 通期業績

✓ 通期業績予想は、売上高168億円、経常利益39億円（連結）

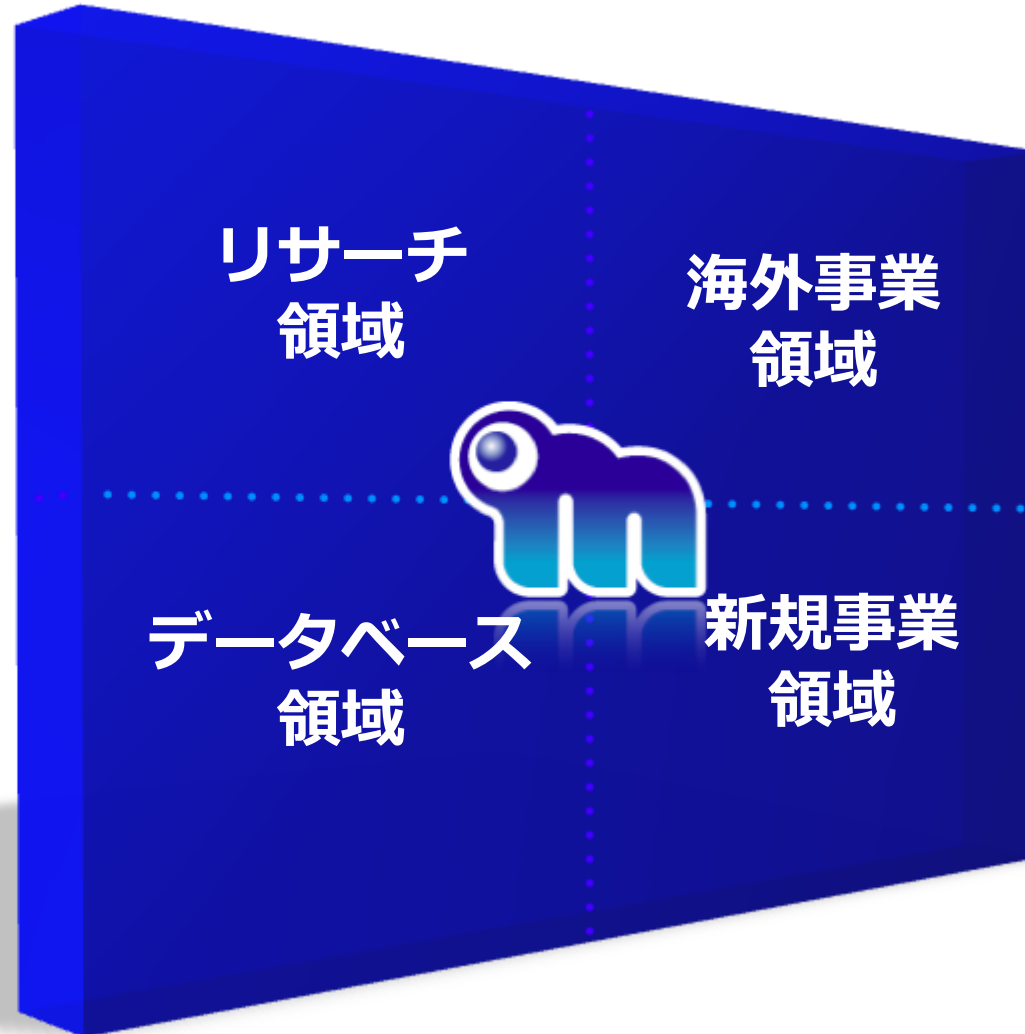
（単位：百万円）

		通期 (7/1~6/30)			
		2013年6月期 予想	2012年6月期 実績	前年比	進捗率
連結	売上高	16,800	14,229	118.1%	49.8%
	経常利益	3,900	2,975	131.1%	49.5%
	経常利益率	23.2%	20.9%	+2.3pt	—
	当期純利益	2,100	1,525	137.6%	60.1%

※ご参考

単体	売上高	15,100	13,847	109.0%	49.3%
	経常利益	3,800	3,644	104.3%	50.2%
	経常利益率	25.0%	26.3%	-1.3pt	—
	当期純利益	2,200	1,751	125.6%	55.9%

マクロミル戦略マップ

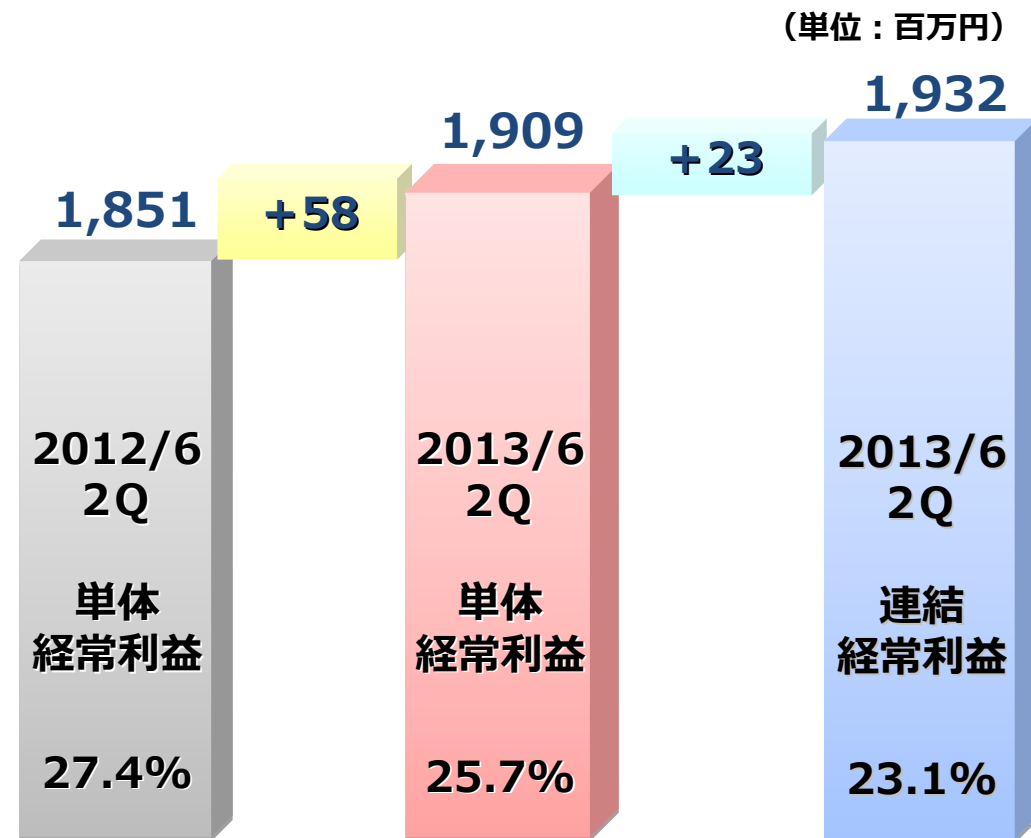


コスト構造の変化と利益分析（2Q累計）



✓ 韓国子会社の利益寄与、子会社収益構造見直しにより
経常利益の連単差改善へ

単体	2013年6月期2Q累計		2012年6月期2Q累計	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	7,437	100.0	6,760	100.0
原価	3,795	51.0	3,189	47.2
人件費	1,045	14.1	874	12.9
モニタ費+外注費	2,195	29.5	1,785	26.4
その他	553	7.4	529	7.8
販売管理費	1,818	24.5	1,714	25.4
人件費	988	13.3	1,044	15.5
その他	830	11.2	669	9.9
経常利益	1,909	25.7	1,851	27.4
(連結経常利益)	1,932		1,577	
当期純利益	1,230	16.5	1,040	15.4

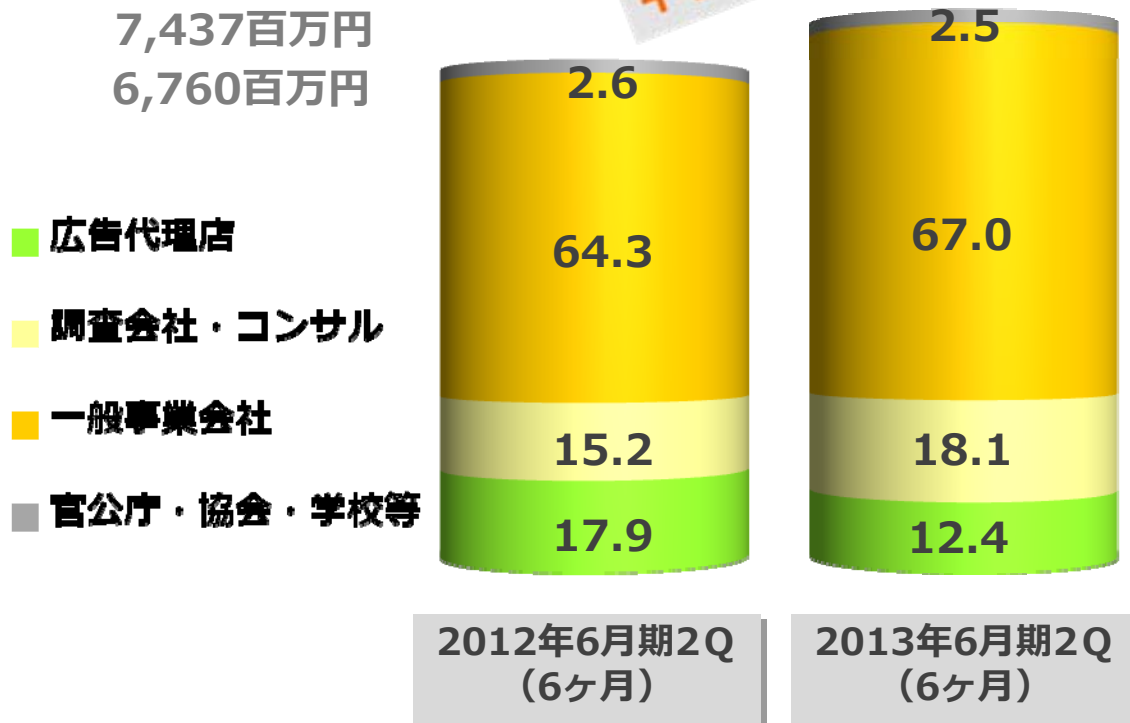


業種別売上高構成比（単体）



✓ 食料品、情報・通信を中心に一般事業会社からの
売上が好調に推移

（グラフラベルの単位：％）



売上高伸長業界 （前年同期、金額比）

1. 調査会社・コンサル

+31.2% +3.1億円

2. 食料品

+23.9% +2.4億円

3. 情報・通信

+24.2% +1.5億円

商品別売上高の変化（単体）



✓ ほぼすべてのサービスで増収となり、以下のサービスは特に大きく伸長

- 消費者購買動向データサービス（QPR） 前年比+43.3%
- グローバルリサーチ 前年比+38.3%
- 定性調査サービス 前年比+21.4%

（単位：百万円）

サービス	2013年6月期 2Q累計	売上高構成比	2012年度6月期 2Q累計	売上高構成比	前期比
自動調査	3,887	52.3	3,661	54.2	106.2%
集計	464	6.2	425	6.3	109.1%
分析	751	10.1	633	9.4	118.6%
定性調査	695	9.4	572	8.5	121.4%
カスタマイズリサーチ	667	9.0	694	10.3	96.0%
グローバルリサーチ	315	4.2	227	3.4	138.3%
消費者購買動向データサービス （QPR）	455	6.1	317	4.7	143.3%
その他	200	2.7	226	3.3	88.7%
合計	7,437	100.0	6,760	100.0	110.0%

※ 当期より開示区分を変更しております。前年同四半期比較は、前年実績を変更後の区分へ組替えたうえで算出しています。
 ※ モバイルリサーチサービスは、その他サービスに含まれます。

海外事業領域（連結）

（単位：百万円）



		FY2013 上半期	FY2012 上半期	前年比
マクロミルエムブレイン (韓国)	売上高	800	546 (※)	146.5%
	経常利益	126	— (※)	—
マクロミルチャイナ (中国)	売上高	96	15	624.6%
	経常利益	△3	△74	—

※マクロミルエムブレインは2012年4月より連結寄与

マクロミルエムブレイン（韓国）

- ✓マクロミル式の経営マネジメント手法（営業管理の強化など）の導入により、売上8.0億円（前年比146.5%）、経常利益で1.2億円の連結寄与を実現
- ✓マクロミル顧客へのサービス案内も強化

マクロミルチャイナ（中国）

- ✓自動調査と定性調査を組み合わせた提案営業により、売上高0.9億円（前年比624.6%）と大幅な成長を実現
- ✓9月、10月、12月においては単月黒字化を実現

今後の事業展開

マクロミルグループの事業展開について

国内

海外

国内既存事業

グローバル展開

既存
領域

国内マーケティングリサーチ
市場成長を凌駕する事業拡大



M&Aを視野に入れた
事業エリアの拡大

アジア、北米、欧州

総合化・差別化



国内新領域

新規
領域

事業ドメインの拡大による
長期成長模索

プロモーション&リサーチ

マクロミルのDNAを海外、新領域に
展開し、さらなる拡大を目指す

- ✓アジアのみならず北米、欧州へ展開
- ✓国内プロモーション市場への進出

国内既存事業の取り組み



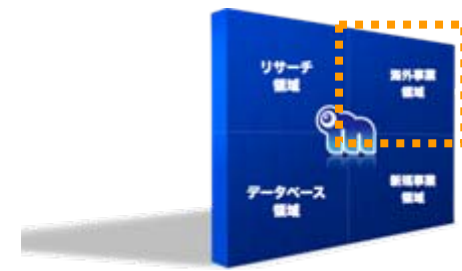
リサーチ

- ✓ 顧客ニーズの高度化を見据え、競争力ある総合リサーチサービス提供のために、組織・費用構造の見直しへ

データベース

- ✓ QPRの拡大に注力しながら、シナジーのある新たな商品開発（ID-POSなど）を本格検討へ

海外事業の取り組み



韓国

- ✓引き続きマクロミル式の経営マネジメント手法の導入に注力し業績拡大 → IPOへ

中国

- ✓戦略を転換し、事業基盤が固まりつつあり。プロモーション含め事業拡大を模索（上海UC社と連携）

北米

- ✓M&Aの機会を引き続き積極的に模索

新規事業の取り組み①



- ✓ スマートフォンを活用した誰もが手軽に使える
マーケティング&プロモーションサービス

サービスの概要



- ✓ これまでにない新しいコンセプトの
ロングテールサービスを実現する
→ 「プロモーションの牛丼化」

- ✓ 店舗からプロモーション対価を
受け取るビジネスモデル
→ BtoBtoCモデル

- ✓ 開発は順調に進捗
→ 3月末~4月上旬にAndroid版からリリース

新規事業の取り組み②

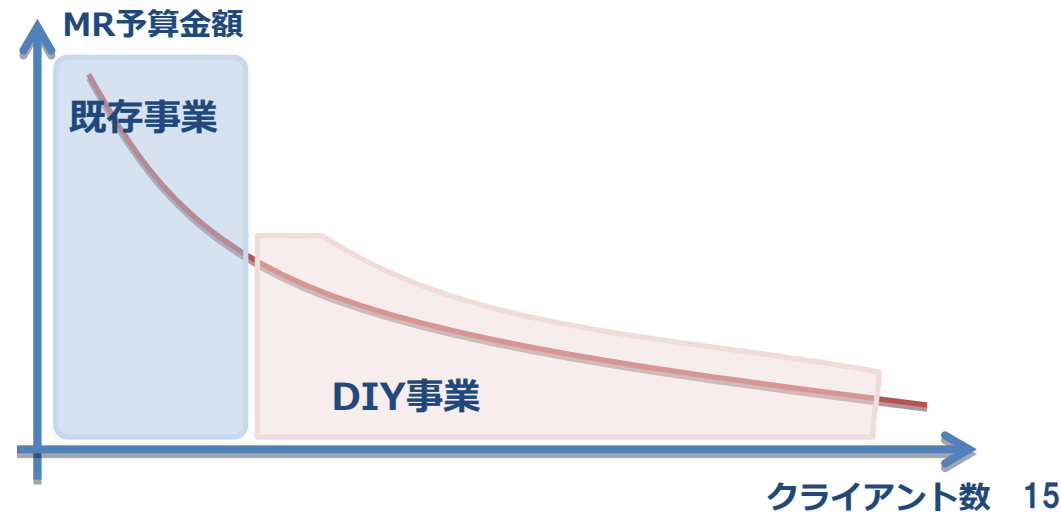
✓さらなる市場の創造に向け、
「DIYリサーチ」サービスを本格検討



DIYリサーチとは？

- ✓顧客が自分自身（Do It Yourself）で調査票を作成して、自社のパネル（インターネット会員等）へアンケートを配信・回収する調査のこと。
- ✓従来のネットリサーチよりもさらに「手軽で」「早く」実施することが可能。
- ✓米国では市場が顕在化されてきており、グローバル全体で数百億円規模。

既存マーケティングリサーチ事業を
補完し、強化する目的で
さらなる市場の創造をねらう



2012-2014年 業績計画

(発表済 再掲)

(単位：百万円)

	2012年度 (実績)	2013年度 (予想) ※上方修正後	2014年度 (予想)
連結売上高	14,229	16,800	20,000
経常利益	2,975	3,900	4,700
経常利益率	20%	23%	24%

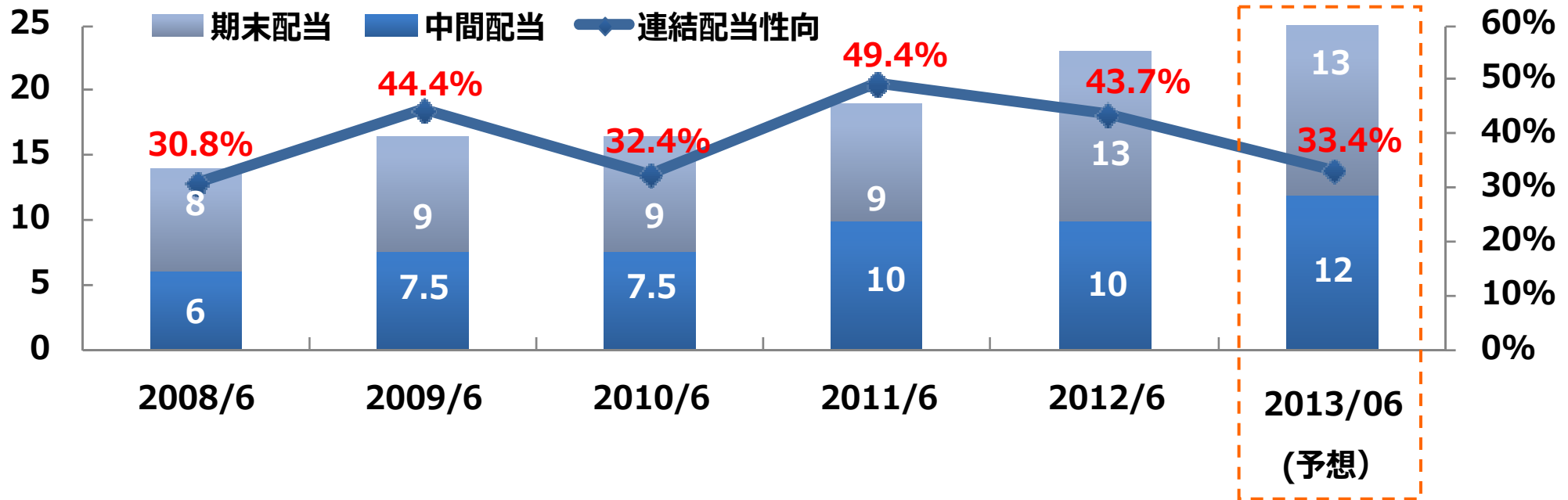
**日本最大最強
かつ**

世界に類を見ないITマーケティング企業へ



配当政策

✓ 中間配当金は1株あたり12円を決議



※ 当期の連結配当性向は発行済株式数30,882,400株より2012年12月末時点の自己株式3,016,600株を控除して計算しております。

(参考) 2013年6月期 第2四半期 業績詳細

2013年6月期 第2四半期 決算の概要

		第2四半期会計期間 (10/1~12/31)			第2四半期累計期間 (7/1~12/31)			上期業績予想 (7/1~12/31)	
		2013年6月期	2012年6月期	前年比	2013年6月期	2012年6月期	前年比	(達成率)	
連結	売上高	4,384	3,598	121.8%	8,362	6,802	122.9%	8,200	102.0%
	経常利益	1,051	915	114.9%	1,932	1,577	122.5%	1,930	100.1%
	経常利益率	24.0%	25.4%	-1.4pt	23.1%	23.2%	-0.1pt	—	—
	当期純利益	613	456	134.4%	1,262	799	157.9%	1,000	126.2%

※ご参考

単体	売上高	3,829	3,575	107.1%	7,437	6,760	110.0%		
	経常利益	999	1,061	94.2%	1,909	1,851	103.1%		
	経常利益率	26.1%	29.7%	-3.6pt	25.7%	27.4%	-1.7pt		
	当期純利益	685	582	117.7%	1,230	1,040	118.2%		

単価・稼働社数(窓口)・VIPの状況 (単体)

指標	単位	2011年6月期		2012年6月期				2013年6月期	
		3Q	4Q (通期)	1Q	2Q	3Q	4Q (通期)	1Q	2Q
Q毎 平均受注単価 (注1)	万円	80.0	75.5	78.3	79.7	83.7	77.2	77.9	81.6
Q毎 平均受注単価 (自動調査のみ) (注1)	万円	52.0	49.8	52.5	52.0	54.9	49.7	50.8	52.6
Q毎 平均受注単価 (ご参考) (注1)	万円	83.5	78.7	81.3	83.3	87.5	80.7	81.7	85.2
年間稼働社数 (注2)	社	1,675	1,895	985	1,371	1,711	1,924	996	1,465
年間稼働窓口数 (注2)	窓口	4,988	6,067	2,485	3,988	5,382	6,327	2,672	4,290
VIP社数 (注3)	社	240	229	254	256	251	249	281	265
VIP内Q平均1,000万円 以上売上高社数 (注4)	社	(55)	(53)	(61)	(63)	(67)	(64)	(67)	(74)

(注1) 2011年6月期の平均単価の算定には、旧Y V Iサービスは含んでおりません。平均受注単価(ご参考)は、定性調査を案件数に含めずに算定しています。実態に合った単価を算定するため、今後上段の「定性調査を1案件とカウント」方式にて、全体単価を算出いたします。

(注2) 各期累計表示です。期初から該当期間までに一度以上売上のあった社数/窓口数を表示しております。

(注3) 各期累計表示です。年間1,000万円以上売上の顧客をV I Pと定義しております。

(注4) 各期累計表示です。

人員の状況

指標	単位	2011年6月期		2012年6月期				2013年6月期	
		3Q	4Q (通期)	1Q	2Q	3Q	4Q (通期)	1Q	2Q
従業員数 連結 (注)	人	545	557	566	594	735	768	788	790
従業員数 単体 (注)	人	528	542	541	550	560	582	567	579

(注) 従業員数は契約社員・休職者を含みます。

※2013年4月に新卒社員40名程度が入社予定

✓ 人員職種別内訳

営業
155名 (うち管アシ27名)

運用
118名

リサーチャー
135名

その他・・・

事業企画、経営管理、
モニタサポート、スタッフ
など

※執行役員以上と休職者はカウントしておりません。
※2013年1月1日現在の人数です。

✓ 連結子会社従業員数 221 → 211名

エムキューブ：12 → 14名

エムワープ：17 → 14名

マクロミルチャイナ：21 → 22名

エムブレイン：164 → 153名

エムプロモ：7 → 8名

モニタの状況

		2011年6月期		2012年6月期				2013年6月期	
指標	単位	3Q	4Q (通期)	1Q	2Q	3Q	4Q (通期)	1Q	2Q
マクロミルモニタ	万人	98.5	104.0	105.9	107.1	108.6	109.5	110.7	112.2

※2013年1月1日現在

PCモニタ

マクロミルモニタ

112万人

(スマホモニタも含む)

Yahoo!
リサーチ・モニター

146万人

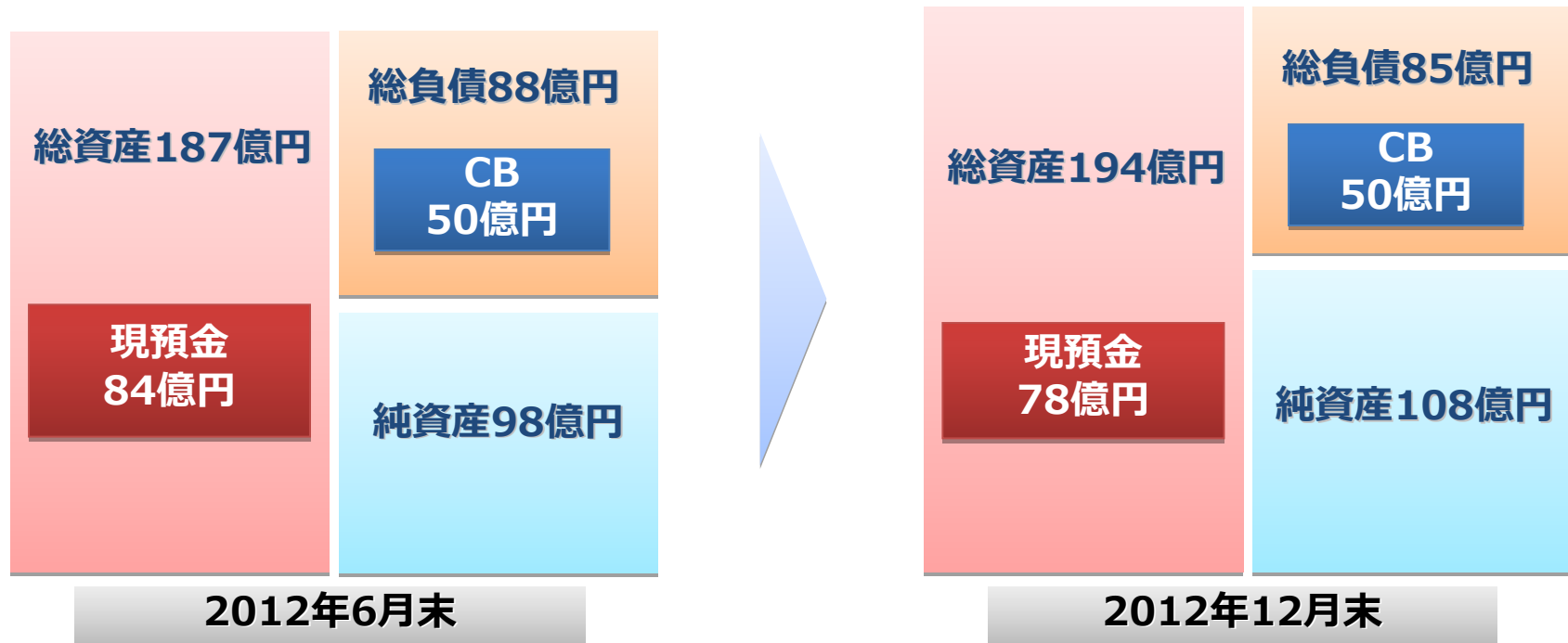
モバイルモニタ

モバイル協カモニタ

33万人

(ここでのモバイルは
フィーチャーフォンを指しております)

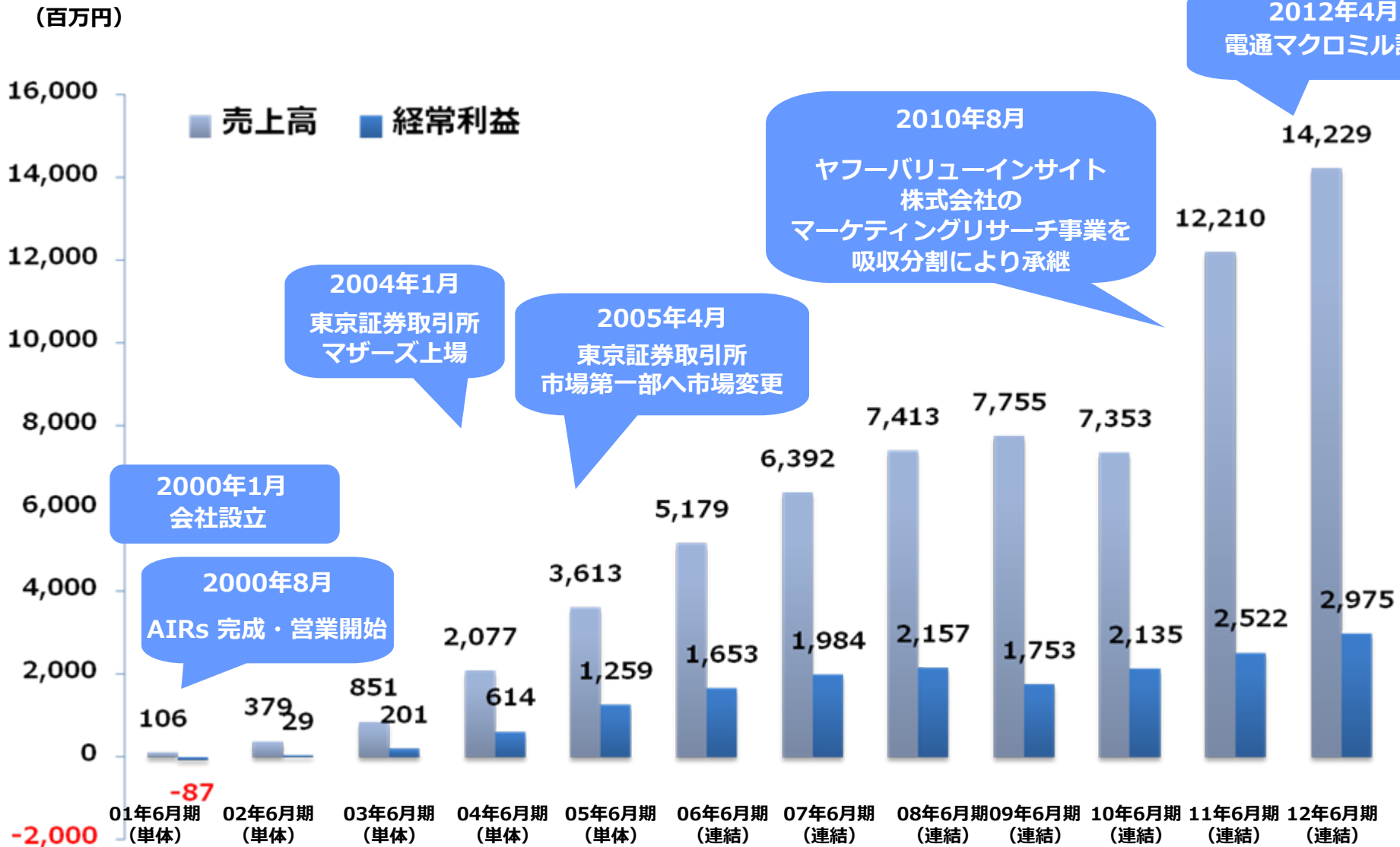
バランスシートの推移（連結） ・ 資本政策



- ✓ 新規・海外事業展開に関し、M&Aを含めた投資を検討
- 既存事業で生み出したキャッシュを元に新たな柱を立てるべく、積極的に事業展開をすすめる

ご参考資料

沿革・業績推移



(ご参考) ネットリサーチのサービスフロー

クライアント

国内企業
海外企業

- ・ 広告代理店
- ・ メーカー
- ・ コンサルティング
- ・ サービス業
- ・ IT関連
- ・ マスコミ
- ・ 官公庁

…など

マクロミル

自動インターネットリサーチシステム
(Automatic Internet Research System)

AIRs3
Marketing Innovation

- ② 調査票作成
- ③ 対象者の抽出
- ⑤ リアルタイム集計
- ⑥ 納品データ生成

調査対象

マクロミルモニタ

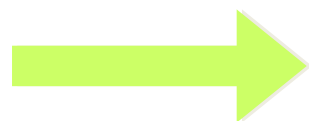
- ・ PCモニタ
- ・ モバイル協カモニタ
- ・ 携帯専用モニタ

外部モニタ

- ・ 医師モニタ (事業提携モニタ)
- ・ 海外調査モニタ
- ・ クライアントの会員リスト

…など

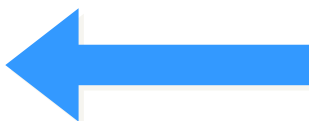
① 調査依頼



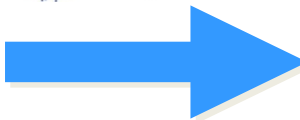
⑤ 調査途中結果のリアルタイム閲覧



⑦ 調査結果納品



④ 回答依頼



⑤ アンケート回答



⑤ リアルタイム謝礼ポイント付与



※マクロミルモニタの場合

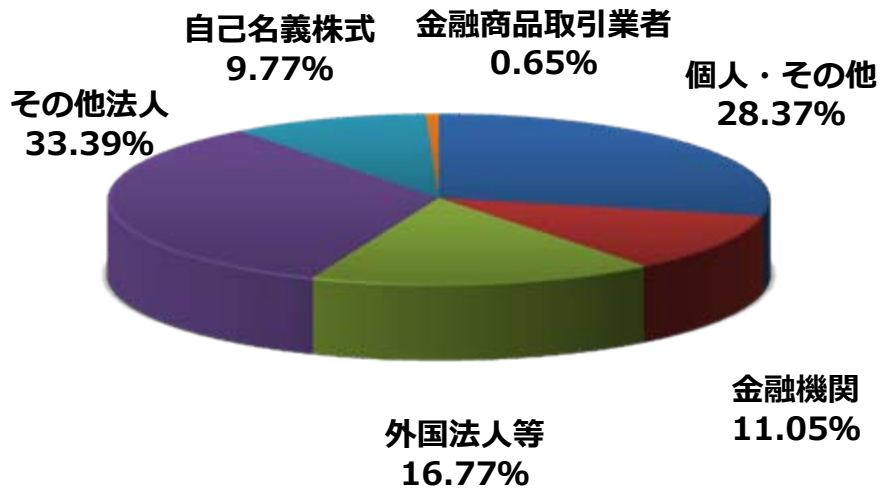
- ※ AIRsを利用した調査のサービスフロー代表例となります。調査内容等によっては、AIRsを利用しない場合やフローが変更となる場合があります。
- ※ 調査の企画設計が発生する場合はフロー①の前、調査結果の集計分析が発生する場合はフロー⑦の後となります。

株式情報

2012年12月31日時点

発行可能株式総数 83,712,000株
 発行済株式の総数 30,882,400株
 株主数 8,831名
 単元株式数 100株

大株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ヤフー株式会社	7,071,100	22.90
株式会社バニラスカイ	2,402,000	7.78
ゴールドマンサックスインターナショナル	2,327,568	7.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,186,400	3.84
杉本 哲哉	912,400	2.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	752,900	2.44
福羽 泰紀	709,600	2.30
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	680,700	2.20
柴田 聡	572,000	1.85
株式会社インテック	514,400	1.67



注1. 当社は自己株式3,016,600株を保有しておりますが、上記大株主には含めておりません。

注2. 持株比率は発行済株式総数を基準に計算しております。

注3. 上記株式会社バニラスカイは、当社代表取締役である杉本哲哉が代表を務める法人であります。

(ご参考) 資本業務提携、グループ会社の状況



連結子会社

国内

M-CUBE

⇒QPRパネルの構築
消費者購買データ収集
株主：博報堂DYホールディングス等

M-WARP

⇒主にスマートフォン分野における
マーケティングソリューション事業
次世代マーケティングプラットフォーム事業
(アプリ開発等)

m-promo

⇒インターネットを活用したマーケティング支援事業
株式会社リゲインから事業譲渡を受ける

海外

macromill
embrain

⇒エムブレインとマクロミル・
コリアの統合（2012年8月）

在线调查, 首选明路
明路
CHINA

⇒中国におけるリサーチ事業
2011年9月営業開始

持分法適用会社

電通マクロミル

⇒40.0%出資

資本業務提携

上海聯都実業有限公司

⇒6.9%を保有

業務提携

YAHOO!
JAPAN

dentsu

ZENRIN
DataCom

電通マーケティングインサイト

本資料に関するご注意

本資料の内容は、現在入手可能な情報から当社の経営陣が判断したものであり、その内容の正確性を保証するものではありません。

様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することも考えられます。従いまして、将来の業績や結果につきましては、本日まで説明する内容と異なる可能性があることをご了承ください。

－本資料に関するお問合せ先－

株式会社マクロミル 経営戦略室 IR担当

TEL : 03-6716-0706 FAX : 03-6716-0701

E-mail : ir@macromill.com